



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月16日

上場会社名 サイボー株式会社
 コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 藤井 孝男

TEL 048-267-5151

定時株主総会開催予定日 2019年6月27日

配当支払開始予定日

2019年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	8,438	1.5	△91	—	34	—	△79	—
2018年3月期	8,311	0.1	△177	—	△118	—	△59	—

(注) 包括利益 2019年3月期 △201百万円 (—%) 2018年3月期 183百万円 (△85.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	△6.02	—	△0.6	0.1	△1.1
2018年3月期	△4.49	—	△0.4	△0.4	△2.1

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 19百万円 2018年3月期 52百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	26,290	16,113	53.5	1,066.65
2018年3月期	27,840	16,536	52.2	1,102.05

(参考) 自己資本 2019年3月期 14,066百万円 2018年3月期 14,529百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	784	△578	△857	1,782
2018年3月期	322	△1,015	90	2,434

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00	221	—	1.5
2019年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00	182	—	1.3
2020年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00		—	

(注) 2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当7円00銭 記念配当3円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,164	△5.6	307	—	355	—	△246	—	△18.65
通期	8,316	△1.5	601	—	692	—	△37	—	△2.81

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	14,000,000 株	2018年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	2019年3月期	812,007 株	2018年3月期	816,007 株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	13,186,185 株	2018年3月期	13,226,375 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	7,320	1.1	△178	—	△149	—	△173	—
2018年3月期	7,239	1.9	△320	—	△361	—	△293	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	△13.00	—
2018年3月期	△21.83	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	22,311	11,364	50.9	851.72
2018年3月期	23,984	11,882	49.5	890.89

(参考) 自己資本 2019年3月期 11,356百万円 2018年3月期 11,875百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
役員の異動	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済・財政政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調がみられたものの、海外では米中両国の貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題が世界経済に影響を及ぼす懸念材料となり、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では就労人口の増加等によるユニフォーム業界の堅調な商いに支えられたものの、百貨店を中心とした衣料品の伸び悩みが依然として続いており、厳しい状況で推移しました。不動産活用事業は、当社の賃貸物件である大型商業施設「イオンモール川口」につきまして2017年9月から賃貸借契約が終了した2018年9月までの期間で、建物等の残存価額2,052百万円を減価償却が完了する様に加速償却した影響から費用が増加しました。これにより前連結会計年度と同様に、同事業の損益は例年に比べ大きく減少しております。一方、その他の賃貸物件であるイオンモール川口前川や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られております。

この結果、当連結会計年度の売上高は8,438百万円（前期比1.5%増）となりました。営業損益は前期と比べ85百万円損失が改善して91百万円の損失となり、経常損益は前期と比べ153百万円損失が改善して34百万円の利益となりました。親会社株主に帰属する当期純損益につきましては前期と比べ19百万円損失が増加して79百万円の損失となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、事業別セグメントの売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

マテリアル部の原糸販売は、ニット産地での生地生産調整により売上が減少しましたが、ポリエステル及びビリン生地は生機を中心に販売が伸びたことから、総じて増収となりました。一方、仕入れ価格の上昇により減益となりました。

アパレル部は、昨年に引き続きユニフォーム業界が安定している中、法人ユニフォームの直需と百貨店からの新規物件受注により増収増益となりました。

カジュアル部は、キャンプ関連商品及びOEM商品の販売が伸び増収となり、また不採算店舗の撤退を進めたことから費用が減少し、営業損失が縮小しました。

刺繍レースを扱うフロリア(株)は、服地レースは新規先や資材向けの売上が伸びた一方、付属レースの売上が減少したことから総じて減収となり営業損失が増加しました。

この結果、繊維事業の売上高は5,005百万円(前期比6.1%増)となり、営業損失は62百万円改善して41百万円の損失となりました。

② 不動産活用事業

「イオンモール川口前川」は、近隣の大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されており、さらに隣接地に病院施設を賃貸することにより不動産活用事業は安定した収益基盤を維持しております。

「イオンモール川口」は、イオンモール(株)からの申し出により、建物の老朽化及び設備状況や施設運用状況などの協議を重ね総合的に判断し、開店から34年が経過した2018年8月31日にお客様に惜しまれつつ閉店し、同年9月30日に賃貸借契約が終了しました。これにより当該物件の残存耐用年数を賃貸借契約が終了する9月30日までに減価償却が完了するように見直し、建物等の残存価額及び資産除去債務に対応する撤去費用を加速償却しました。以上により、「イオンモール川口」に係る費用は従来に比べて877百万円増加しております。再開発については当該跡地を含む周辺一帯をイオンモール(株)と共同で新たな商業施設としての検討を進めております。

この結果、不動産活用事業の売上高は2,475百万円（前期比7.8%減）、営業損失は24百万円増加して141百万円の損失となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)が営む「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は夏の猛暑や、川口グリーンゴルフ練習場において打席設備の一新や稼働システムの更新を進めている影響から、入場者が減少し減収となりましたが、費用の削減効果が表れて増益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は871百万円(前期比3.8%減)、営業利益は73百万円(前期比57.3%増)となりました。

④ その他の事業

ギフト事業部は、観葉植物の新規レンタル契約獲得と慶弔用のギフト販売に注力し増収となりました。一方で経費を削減し営業損失が縮小しました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般住宅施工は増えたものの、大口物件の受注の減少を埋めることができず、減収減益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は472百万円(前期比33.3%減)、営業利益は17百万円(前期比55.7%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,550百万円減少して26,290百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が増加したものの、現金及び預金の減少や、大型商業施設である「イオンモール川口」の賃貸借契約終了が決定したことにより建物等の残存価額を加速償却した影響や、その他の資産の減価償却が進んだことによる有形固定資産の減少等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,126百万円減少して10,177百万円となりました。これは主に1年内返還予定の預り保証金(長期との純額)や長期借入金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ423百万円減少して16,113百万円となりました。これは主に非支配株主持分が増加したものの、親会社株主に帰属する当期純損失の計上やその他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ652百万円減少して1,782百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は前連結会計年度に比べ461百万円増加して784百万円となりました。これは主に売上債権が増加したものの、たな卸資産の減少や仕入債務の増加、法人税等の支払額の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は前連結会計年度に比べ436百万円減少して578百万円となりました。これは主に有価証券の売却による収入の減少や固定資産の除却による支出が増加したものの、有形固定資産や投資有価証券の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は前連結会計年度に比べ948百万円増加して857百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が減少したものの、長期借入れによる収入が大幅に減少したこと等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率	48.8%	50.1%	52.5%	52.2%	53.5%
時価ベースの自己資本比率	58.0%	57.5%	59.7%	59.5%	59.8%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.2年	1.6年	2.6年	7.4年	2.4年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	51.2倍	61.6倍	44.2倍	24.3倍	72.7倍

- (注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株価時価総額/時価ベースの総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い
 ※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 ※時価ベースの総資産は、自己資本を時価ベースに置き換えて算出しております。
 ※キャッシュ・フローは、自己資本を時価ベースに置き換えて算出しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、借入金を対象としております。また、利払いについては当該有利子負債に係る利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、国内経済は、雇用・所得環境などに明るい兆しが見られるものの、10月の消費税増税や米中両国の貿易摩擦の長期化などにより引き続き不透明な状況が続くものと思われまます。このような状況のもと当社グループは「繊維事業の黒字化」、安定した収益を生み出す「不動産活用事業のさらなる拡充」、当社グループにおける「その他の事業の収益貢献度の向上」を経営課題としております。

次期の連結業績は、当期に営業費用に計上した賃貸不動産「イオンモール川口」の加速償却の影響が無くなることから、営業利益及び経常利益は大幅に改善すると予想しております。一方で「イオンモール川口」の跡地に、イオンモール(株)と共同で大型商業施設の開発を進めているため、「イオンモール川口」の建物等は2019年9月に解体が完了する予定であり、これにより次期の第2四半期において解体撤去費用640百万円を特別損失に計上する見込みです。この結果、次期においても親会社株主に帰属する当期純利益は損失となる見込みです。

次期の連結通期業績予想は、売上高8,316百万円、営業利益601百万円、経常利益692百万円、親会社株主に帰属する当期純損失37百万円を見込んでおります。

なお、セグメント別売上高は次のとおりです。

繊維事業	4,932百万円
不動産活用事業	2,231百万円
ゴルフ練習場事業	916百万円
その他の事業	588百万円
全社又は消去	△352百万円

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,695,080	2,039,631
受取手形及び売掛金	960,583	1,149,892
有価証券	50,260	-
商品及び製品	1,190,307	1,132,870
仕掛品	15,226	10,986
原材料及び貯蔵品	32,272	33,883
その他	225,850	415,082
貸倒引当金	-	△2,923
流動資産合計	5,169,581	4,779,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,822,205	19,801,684
減価償却累計額	△17,095,527	△11,305,130
建物及び構築物(純額)	9,726,677	8,496,554
機械装置及び運搬具	65,597	66,357
減価償却累計額	△62,973	△59,646
機械装置及び運搬具(純額)	2,624	6,711
工具、器具及び備品	352,026	549,132
減価償却累計額	△282,306	△295,943
工具、器具及び備品(純額)	69,720	253,188
土地	6,929,229	7,295,223
リース資産	68,268	18,044
減価償却累計額	△65,049	△12,231
リース資産(純額)	3,218	5,812
建設仮勘定	565,366	321,608
有形固定資産合計	17,296,835	16,379,100
無形固定資産	14,518	33,790
投資その他の資産		
投資有価証券	4,716,200	4,388,271
繰延税金資産	390,609	500,547
その他	279,497	243,541
貸倒引当金	△26,485	△34,011
投資その他の資産合計	5,359,822	5,098,349
固定資産合計	22,671,176	21,511,240
資産合計	27,840,757	26,290,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	577,705	706,647
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	536,136	493,684
未払法人税等	18,753	849
賞与引当金	59,618	53,661
役員賞与引当金	6,350	6,350
資産除去債務	-	451,141
1年内返還予定の預り保証金	2,733,218	507,639
その他	331,607	272,938
流動負債合計	4,313,389	2,542,912
固定負債		
長期借入金	1,795,942	1,302,258
役員退職慰労引当金	243,968	259,752
退職給付に係る負債	160,331	168,882
長期預り保証金	3,877,716	5,468,589
資産除去債務	794,127	346,394
その他	118,770	88,603
固定負債合計	6,990,855	7,634,479
負債合計	11,304,244	10,177,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	870,956	871,061
利益剰余金	12,041,071	11,739,863
自己株式	△496,828	△494,970
株主資本合計	13,817,198	13,517,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	750,152	618,302
退職給付に係る調整累計額	△37,884	△69,266
その他の包括利益累計額合計	712,267	549,035
新株予約権	6,595	7,335
非支配株主持分	2,000,450	2,038,945
純資産合計	16,536,512	16,113,271
負債純資産合計	27,840,757	26,290,663

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	8,311,235	8,438,524
売上原価	6,929,172	7,033,156
売上総利益	1,382,063	1,405,368
販売費及び一般管理費	1,559,510	1,497,064
営業損失(△)	△177,447	△91,695
営業外収益		
受取利息	10,320	3,769
受取配当金	91,735	77,917
持分法による投資利益	52,413	19,072
補助金収入	-	40,632
その他	49,539	45,282
営業外収益合計	204,008	186,674
営業外費用		
支払利息	43,081	31,346
固定資産除却損	29,706	12,201
貸倒引当金繰入額	25,545	7,314
その他	47,013	9,830
営業外費用合計	145,347	60,692
経常利益又は経常損失(△)	△118,785	34,286
特別利益		
新株予約権戻入益	8,972	-
特別利益合計	8,972	-
特別損失		
固定資産除却損	-	50,000
投資有価証券評価損	-	10,696
関係会社株式評価損	25,000	-
特別損失合計	25,000	60,696
税金等調整前当期純損失(△)	△134,813	△26,410
法人税、住民税及び事業税	214,605	13,200
法人税等調整額	△475,418	△6,996
法人税等合計	△260,812	6,203
当期純利益又は当期純損失(△)	125,998	△32,614
非支配株主に帰属する当期純利益	185,400	46,771
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△59,401	△79,385

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	125,998	△32,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,518	△132,100
繰延ヘッジ損益	1,307	-
持分法適用会社に対する持分相当額	13,657	△36,675
その他の包括利益合計	57,482	△168,776
包括利益	183,481	△201,390
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,826	△242,617
非支配株主に係る包括利益	176,655	41,226

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,402,000	871,122	12,282,917	△457,647	14,098,392
当期変動額					
剰余金の配当			△182,444		△182,444
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△59,401		△59,401
自己株式の取得				△47,013	△47,013
自己株式の処分		△166		7,832	7,666
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△166	△241,846	△39,181	△281,193
当期末残高	1,402,000	870,956	12,041,071	△496,828	13,817,198

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	683,629	△1,307	△36,283	646,039	15,058	1,779,537	16,539,027
当期変動額							
剰余金の配当							△182,444
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△59,401
自己株式の取得							△47,013
自己株式の処分							7,666
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	66,522	1,307	△1,601	66,228	△8,462	220,912	278,678
当期変動額合計	66,522	1,307	△1,601	66,228	△8,462	220,912	△2,515
当期末残高	750,152	-	△37,884	712,267	6,595	2,000,450	16,536,512

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,402,000	870,956	12,041,071	△496,828	13,817,198
当期変動額					
剰余金の配当			△221,822		△221,822
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△79,385		△79,385
自己株式の取得				-	-
自己株式の処分		105		1,858	1,964
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	105	△301,207	1,858	△299,243
当期末残高	1,402,000	871,061	11,739,863	△494,970	13,517,955

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	750,152	-	△37,884	712,267	6,595	2,000,450	16,536,512
当期変動額							
剰余金の配当							△221,822
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△79,385
自己株式の取得							-
自己株式の処分							1,964
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△131,849	-	△31,382	△163,231	739	38,494	△123,997
当期変動額合計	△131,849	-	△31,382	△163,231	739	38,494	△423,240
当期末残高	618,302	-	△69,266	549,035	7,335	2,038,945	16,113,271

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△134,813	△26,410
減価償却費	1,741,514	1,551,801
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	25,195	10,449
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△63	△5,957
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	630	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,130	8,551
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14,526	15,784
受取利息及び受取配当金	△102,056	△81,687
支払利息	43,081	31,346
持分法による投資損益 (△は益)	△52,413	△19,072
有形固定資産売却損益 (△は益)	△9	△636
有形固定資産除却損	29,706	62,201
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	10,696
関係会社株式評価損	25,000	-
売上債権の増減額 (△は増加)	68,357	△188,353
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△102,544	60,065
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,409	128,942
預り保証金の増減額 (△は減少)	△583,628	△634,705
その他	△303,841	△55,137
小計	681,181	867,875
利息及び配当金の受取額	102,680	82,623
利息の支払額	△42,507	△31,346
法人税等の支払額	△419,092	△134,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	322,261	784,251
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	237,907	49,728
有形固定資産の取得による支出	△1,087,552	△622,968
固定資産の除却による支出	△29,256	△202,696
有形固定資産の売却による収入	9	1,012
投資有価証券の取得による支出	△498,720	△60,384
投資有価証券の売却による収入	163,432	101,319
定期預金の増減額 (△は増加)	△15,210	2,989
貸付けによる支出	△5,000	△700
貸付金の回収による収入	7,390	5,880
その他	211,470	147,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,015,529	△578,762

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	660,000	720,000
短期借入金の返済による支出	△660,000	△720,000
長期借入れによる収入	1,000,000	-
長期借入金の返済による支出	△606,951	△536,136
配当金の支払額	△182,444	△221,822
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	7,167	1,848
その他	△124,512	△99,106
財務活動によるキャッシュ・フロー	90,526	△857,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△602,741	△652,459
現金及び現金同等物の期首残高	3,037,437	2,434,695
現金及び現金同等物の期末残高	2,434,695	1,782,235

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」55,959千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」390,609千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、セグメント情報においては、「繊維事業」「不動産活用事業」「ゴルフ練習場事業」を報告セグメントとしております。

「繊維事業」は、繊維品の製造販売を行っており、「不動産活用事業」は、商業施設・その他不動産の賃貸及びビルメンテナンスの運営を行っており、「ゴルフ練習場事業」は、ゴルフ練習場の運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

セグメント間の内部取引における価格は、外部顧客との取引価格に準じております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	繊維	不動産活用	ゴルフ練習場	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,710,901	2,415,462	906,177	8,032,540	278,694	8,311,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,583	270,328	—	278,912	429,739	708,651
計	4,719,484	2,685,791	906,177	8,311,452	708,434	9,019,887
セグメント利益又は損失(△)	△103,652	△116,784	46,547	△173,889	39,394	△134,495
セグメント資産	2,235,827	14,932,967	1,916,271	19,085,066	403,196	19,488,262
その他の項目						
減価償却費	17,602	1,649,516	70,716	1,737,835	3,678	1,741,514
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 2	3,380	519,072	554,773	1,077,226	1,842	1,079,069

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、資産除去債務相当資産を含めておりません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	繊維	不動産活用	ゴルフ練習場	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,996,889	2,205,633	871,749	8,074,272	364,251	8,438,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,400	270,328	44	278,773	108,164	386,937
計	5,005,289	2,475,962	871,793	8,353,045	472,416	8,825,462
セグメント利益又は損失(△)	△41,387	△141,003	73,209	△109,181	17,447	△91,733
セグメント資産	2,286,718	14,070,864	1,947,718	18,305,301	464,591	18,769,893
その他の項目						
減価償却費	11,852	1,461,112	75,626	1,548,591	3,209	1,551,801
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,077	442,781	109,174	553,032	8,335	561,368

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	8,311,452	8,353,045
「その他」の区分の売上高	708,434	472,416
セグメント間取引消去	△708,651	△386,937
連結財務諸表の売上高	8,311,235	8,438,524

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△173,889	△109,181
「その他」の区分の利益	39,394	17,447
セグメント間取引消去	△42,951	37
連結財務諸表の営業利益又は損失(△)	△177,447	△91,695

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	19,085,066	18,305,301
「その他」の区分の資産	403,196	464,591
全社資産(注)	8,352,494	7,520,770
連結財務諸表の資産合計	27,840,757	26,290,663

(注) 全社資産は主に余資運用資金(現金及び預金・有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注) 1		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	1,737,835	1,548,591	3,678	3,209	—	—	1,741,514	1,551,801
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,077,226	553,032	1,842	8,335	9,548	96,436	1,088,617	657,804

(注) 1 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門及び全社に属する設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
イオンモール(株)	2,162,121	繊維、不動産活用及びその他

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
イオンモール(株)	1,971,265	繊維、不動産活用及びその他

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,102.05円	1,066.65円
1株当たり当期純損失(△)	△4.49円	△6.02円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益について前連結会計年度は潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、当連結会計年度は潜在株式は存在せず、また、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△59,401	△79,385
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△59,401	△79,385
普通株式の期中平均株式数(株)	13,226,375	13,186,185
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	潜在株式の種類と数 2013年、2014年、2015年及 び2017年発行分のストック オプション 新株予約権 1,410個	潜在株式の種類と数 2013年から2018年発行分の ストックオプション 新株予約権 2,110個

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2018年3月31日)	当連結会計年度末 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	16,536,512	16,113,271
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)		
(うち新株予約権(千円))	(6,595)	(7,335)
(うち非支配株主持分(千円))	(2,000,450)	(2,038,945)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	14,529,466	14,066,991
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	13,183,993	13,187,993

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

2019年6月27日開催の当社第96回定時株主総会及び総会後の取締役会においてご承認いただくことを条件として、役員の変動について内定いたしました。

(1) 新任取締役候補

取締役 米澤 幸男 (現 財務部部長)

(2) 役付役員の変動

常務取締役 金子 康浩 (現 取締役社長室長兼内部統制室長)

常務取締役 飯塚 将 (現 取締役不動産開発事業部長)

常務取締役 飯塚 豊 (現 取締役総務部長兼ギフト事業部長)

(3) 退任予定取締役

専務取締役管理本部長 藤井 孝男